

### 3月22日18:00時点での被災地医療情報・支援情報

3月21日11:00

国士舘大学多摩キャンパスより救急車1台、京王運輸の4トントラック1台にて災害医療支援隊第2陣が出発致しました。

医師2名、救急救命士2名、大学講師1名、京王運輸のドライバー2名その他、経口補水液OS-1、マスク、次亜塩素酸水、ウェットタオル、軽油、灯油、医療器材等計4トンを宮城方面へ輸送予定です。

17:05

災害医療支援隊 東北自動車道、仙台宮城IC到着 宮城県庁に移動。

18:00

災害医療支援隊 宮城県庁に到着。

18:01

災害医療支援隊 宮城県庁にて、東北大学の上原教授と面会。支援調整を行う。

18:38

災害医療支援隊 宮城県庁と調整し、石巻地域と志津川地域に医療物資を届けることとなった。

19:37

災害医療支援隊 宮城県庁から石巻に向けて、医療物資を届けに出発。

20:17

災害医療支援隊 石巻市役所に到着。

21:13

災害医療支援隊 石巻市役所に経口補水液OS-1を120箱、マスクやウェットタオル、次亜塩素酸水、食料品その他医療物資計2トンを輸送致しました。

21時24分

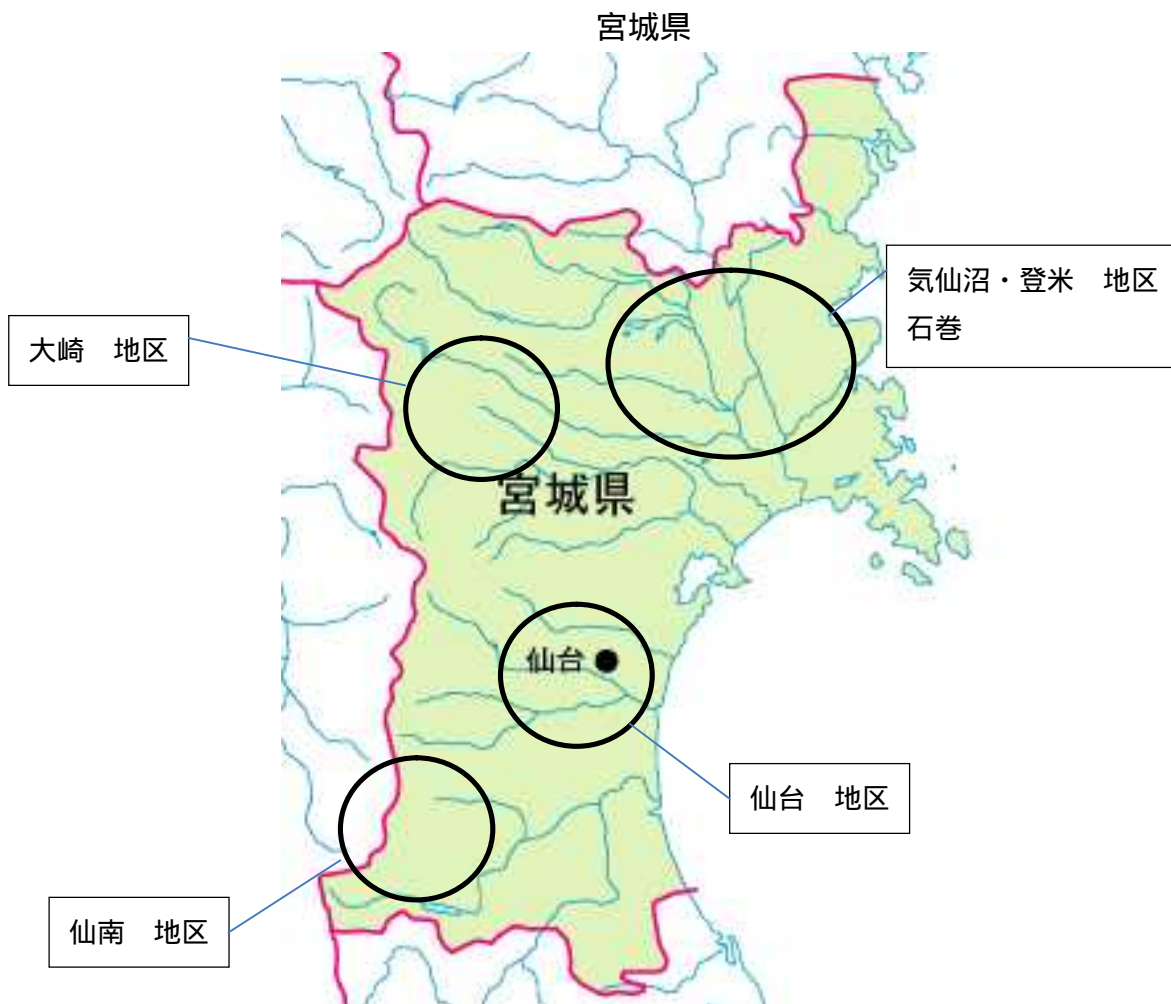
災害医療支援隊 志津川に向けて移動開始。

災害医療支援隊 志津川地域に到着。経口補水液OS-1、マスクやウェットタオル、次亜塩素酸水、食料品その他医療物資計2トンを輸送致しました。

また、株式会社カーブスジャパン様ご提供の水16トンを、IVUSA国際ボランティア学生協会による搬送協力を頂き、救急医療総合研究機構医療支援本部本部長 田中秀治の調整の元、石巻市へ輸送致しました。

現地入りした災害医療支援隊より、石巻、志津川、南三陸地方の現況として、水道、ガス、電気等のライフラインはほぼ復旧しており、医薬品、食料品などの物資は徐々に充足してきている、また、医療スタッフも、各医療団体、医療チーム等が多数入ってきており、そちらも充足しているとの情報提供がありました。

現地 災害医療支援隊 (2011/03/22 15:00)



### 仙台 地区

仙台市宮城野区では、援助チームがいくつか残っているようである。ライフラインは電気、水が不安定な状況となっている。ガスは普及の見込みがない。暖房が使えない。周りには避難所は多いが、避難民はあまりいないようである。病院では外来も制限している。水がないのでトイレが問題となっている。ガソリンが足りない。仙台厚生病院、仙台市立病院がダメージが多く、あまり機能していないようであるとのこと。ほかの地域から患者が来るがはけられない状態となっている。インフルエンザが流行ってきている。

国立病院機構 仙台医療センター (2011/03/18 15:30)

仙台徳州会病院はインターネット、電話、FAXなどはOK。しかし、水道は配管整備の為に部分開通、ガスは完全に止まっており復旧に1カ月の見通し。水の問題の為に、汚物処理が満足にできていない。医療スタッフは徳州会グループの病院から支援を受けており、充足している。自院DMAT隊を被災地へ派遣している。医薬品が不足し、供給の見通しが見つからないため患者を限定して受け入れている。支援希望申請フォームの存在を知らなかった為、この医療情報へのアクセスの案内を行った。

仙台徳州会病院 (2011/03/19 12:20)

東北厚生年金病院はインターネット、電話、FAXは開通しているが、電気は昨夜から、水は一昨日から、ガスは未だに復旧していない。医療スタッフが不足しており患者の受け入れはかかりつけ患者のみに限定しておこなっている、また入院患者数を限定して診療している。避難所に医師と看護師を5~8名、

派遣している。医薬品が不足しており、県、市、社会福祉連合会に要請しているが、未だ供給は十分でない。感染症の蔓延はでない。

東北厚生年金病院（2011/03/19 12：48）

仙台赤十字病院はインターネット、電話、FAXは開通している。医療スタッフはガソリン不足の為に出勤できず、不足している。医薬品は現段階では足りているが、一般診療に切り替えた場合には不足が生じる。人的支援は赤十字支部から受けている状態。感染症に関してはインフルエンザ、ノロウィルスが流行し始めている。

仙台赤十字病院（2011/03/19 13：00）

松島病院はインターネットは昨日から、電気は15日から、水は断水状態、ガスは備蓄のプロパンガスでまかなっている。ベッド数の関係で入院を要する患者の受け入れは行っていないが、それ以外の患者は診療している。医療スタッフ、医薬品は優先的に支援を受けており充足している。インフルエンザなどの感染症は蔓延していない。病院の状況は落ち着いている。

松島病院（2011/03/19 14：33）

仙台社会保険病院の状態は安定しており、特別な支援は必要としていない。

仙台社会保険病院（2011/03/19 14：54）

仙台医療センターオープン病院ではガスのみ供給されていないが、その他のライフラインの状態は安定している。医療スタッフも充足しており、感染症の蔓延も起こっていない。

仙台医療センターオープン病院（2011/03/19 15：05）

東北病院では不足している医薬品を要請しているが、供給は未だきていない。県庁本部に救急総研から連絡を試みたが、県庁側では不足している物資に関してはデータベース化した情報を把握しているという返答。東京から支援を調整出来る旨を伝達。

### **気仙沼・登米・石巻 地区**

現地入りした災害医療支援隊より、石巻、志津川、南三陸地方の現況として、水道、ガス、電気等のライフラインはほぼ復旧しており、医薬品、食料品などの物資は徐々に充足してきている、また、医療スタッフも、各医療団体、医療チーム等が多数入ってきており、そちらも充足しているとの情報提供がありました。

現地 災害医療支援隊（2011/03/22 15：00）

#### 宮城県気仙沼市

気仙沼市には現在97か所の避難所が設置され、約1万9千人が避難所で生活しています。避難所で生活する被災者の方々の医療支援や病院支援を目的として、東京都医師会、日本医師会、日本病院協会、東京都は宮城県気仙沼市で医療支援活動をしています。医療支援は気仙沼市立病院を拠点とし病院所属

医師、気仙沼医師会と連携して行っています。

3月20日現在、15チームが参集し巡回診療をしています。また、高次医療機関への後方搬送の支援も行っています。各種医薬品は充足しつつありますが、衛生用品が十分ではありません。現在、インフルエンザは流行していませんが、若干名の感染性腸炎が発生し、手洗い・うがいの指導や手指消毒薬、マスク着用の指導をしています。

ライフラインは次第に普及してきておりますが、ガソリンは不足気味で市民が入手するのは困難のようです。また、救急車の台数が不足しており、医療支援チームの車両を使用したりしていますが、今後は東京消防庁の救急車を導入することも議論されているようです。

今後は気仙沼医師会の要請に基づいて固定の医療救護所での活動（約15か所）が中心となりますが、孤立地区は巡回診療のニーズが高いと思われます。

ボランティアとしての医療支援活動は交通手段や宿泊施設は自ら確保することが前提となります。

平成23年3月20日

日本医科大学救急医学教室

情報提供 日本医科大学付属病院高度救命救急センター（2011/03/20 22:00）

気仙沼市立病院より、登米市のほうで三陸地方の避難患者を請け負っており、医療支援が必要の可能性があると連絡を受け、市立佐沼病院、市立米谷病院に連絡をした。

市立米谷病院では入谷地区（南三陸）で1000名の避難者を確認しているとのこと。佐沼病院のほうではインターネット環境がまだ整っていないが、電話回線は本日復旧したとのこと。36か所の避難所を把握しているとのことだった。

両病院とも東北大学より医療スタッフの支援があり、避難所のほうに本日診療に出たとのこと。石巻赤十字病院は、まだ固定電話が通じず衛星電話にて通話をおこなった。昨日に比べ食糧支援物資は少量だが入るようになってきている。医薬品は現状では充足している。医療スタッフは依然として医師、看護師共に不足している。また、入院患者8名からインフルエンザが検出。患者の受け入れに関しては昨日から変化なし。マスクなどで感染の蔓延を防いでいる。ライフラインの状態は全て良好。

気仙沼市立病院（2011/03/18 12:10）

市立佐沼病院、市立米谷病院（2011/03/18 12:20）

石巻赤十字病院（2011/03/19 12:30）

## 大崎 地区

ネット環境は復旧した。（不安はあり）。ライフラインは復旧。避難所も安定してきている。常時の勤務ができてきている。

大崎市民病院（2011/03/18 15:04）

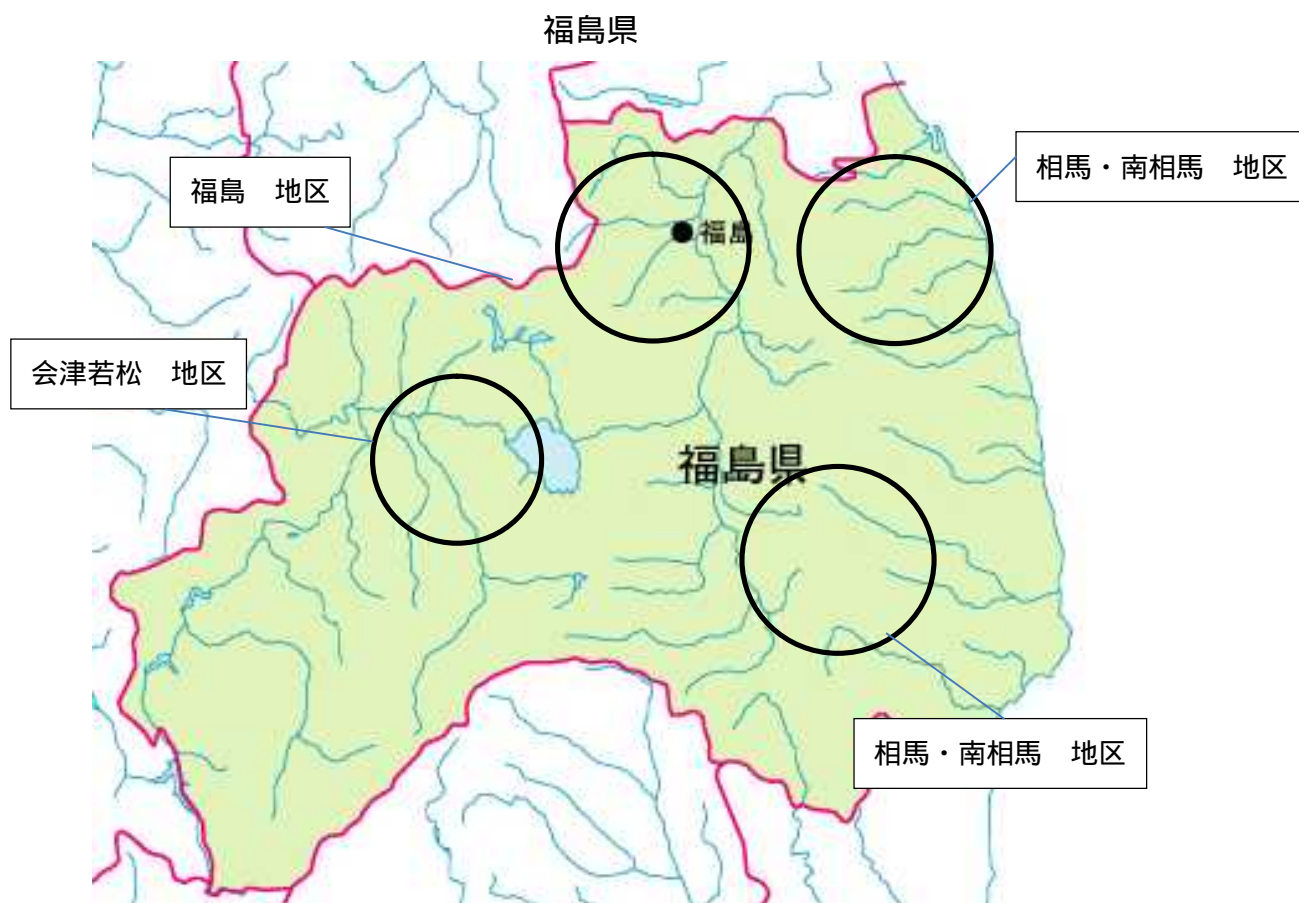
## 仙南 地区

みやぎ県南中核病院は電気、ガス、水などのライフラインは良好。患者は重症のみ受け入れている。医療スタッフは主に看護師が不足している。医薬品は今後の見通しがつかない為、節約して処方している。感染症などの蔓延も起こっていない。比較的、病院の状況は安定している。

仙南病院は慢性期の病院。インターネット、電気は一昨日夜から、電話は本日から開通。ガスは備蓄のプロパンガスでまかなっている状態。医師は常勤の3名が24時間体制で診療を行っており、その他のスタッフもガソリン不足の為に出勤できず、総じて医療スタッフは不足している。医薬品は現状は足りているが見通しが見つからない為、長期処方ができずにいる。感染症等の蔓延は起こっていない。

みやぎ県南中核病院 (2011/03/19 14:37)

仙南病院 (2011/03/19 14:17)



### 相馬・南相馬 地区

南相馬市立総合病院ではライフラインは良好。医薬品や医療スタッフは共に充足している。また、感染症の蔓延、衛生面の悪化はなく、直面している唯一の問題はガソリンの不足のみの状態。

南相馬市立総合病院 (2011/03/19 16:02)

地域でガソリンが不足し、域内の病院が順番で供給を受けている。医療スタッフは看護師、調理師が主に不足している。ライフラインは全て良好、食糧支援物資は充足している。患者の受け入れは外来を閉鎖し数を制限して診療。入院患者 150 名程度は群馬日本赤十字病院へ警察車両で本日から一日につき 50 人程度のペースで転院させている。感染症の蔓延、衛生面の悪化はないが、スタッフの疲労が著しく健康管理が必要。大町病院 (2011/03/19 11:45)

大町病院 (2011/03/19 11:45)

## いわき 地区

いわき松村総合病院では水、電気、ガス、通信のライフラインは全て良好。お湯が出ず、ガソリンも不足している。医薬品は現状では充足。支援物資は米、飲み水、カップ麺、毛布が支給されている。医療スタッフについては医師は充足、看護師は通常の1/3程度の人数で診療している。しかし、医療スタッフも多く避難しており、マンパワー不足は慢性的に起こっている。人員不足は県に要請している。病院の方針で入院患者を安全な地域へ搬送したいが、搬送手段がない状態。また、ガソリンが不足し、被災者、スタッフが病院へ来られない状態が続いている。原発から40Kmの地点であり、各種支援の手は入っていない。

いわき中村病院では電気、ガス、水などのライフラインは良好。インターネット、電話などの通信も良好。医薬品も現状は充足しているが、長引けば不安定になる。支援物資はおむつが不足している。医療スタッフは不足しており、主に看護師の不足が深刻化。感染症の蔓延、衛生面の悪化はみられていない。

福島県湯本病院では、ネット、電気はOK。断水状態がつづく。ガソリンがなく物資もおくれず食糧がない。内服薬は今月中。注射関係は来週いっぱい。ガーゼ、おむつ消耗品は今月中もつかどうかという段階。避難して町に人がない状況。津波の被害はあまりないようだった。県から被ばく圏内に入っていないので搬送については施設ごとに対応するとの指示があった。病院では、154床の患者を転送させることを希望している。130人入院しており80人が寝たきりとなっている。搬送機材がないとのことであった。

いわき松村総合病院 (2011/03/19 15:15)

いわき中村病院 (2011/03/19 15:54)

いわき市立総合磐城共立病院 (2011/03/18 10:00)

福島県湯本病院 (2011/03/18 15:44)

## 福島 地区

南東北福島病院では不足している医薬品を要請しているが、供給物資は未だきていない。県庁本部に救急総研から連絡を試み、不足している物資に関してはデータベース化した情報を把握しているという返答。東京から支援を調整する旨を伝達。

南東北福島病院 (2011/03/19 11:30)

福島県赤十字病院 (2011/03/18 17:03)

## 会津若松 地区

竹田総合病院は電話が現在も通じない状態であった。

太田総合病院附属太田熱海病院はライフラインの状況は良好。患者数は平常時と変化なく、診療を行っている。特別な支援は特に必要としていない。

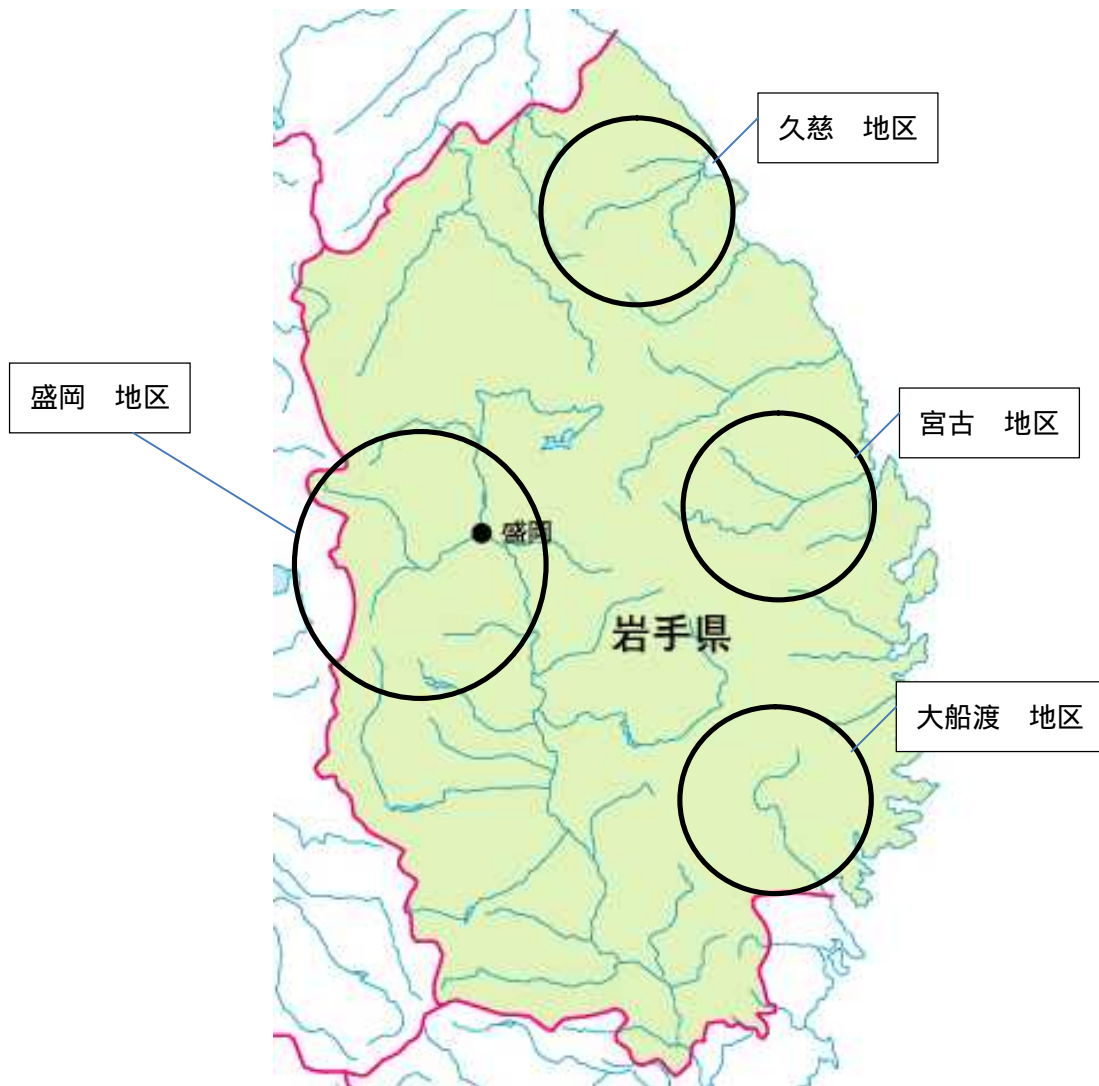
財団法人 温知会 会津中央病院では、市役所が支援を行っており、物品はなんとかもちそうである。DMAT チームは来ていないとのこと。海岸沿いの被災地の方々が会津地区または新潟地区へ搬送されているとのこと。それでも毎日、避難所が飽和してきており、仮設テントが増設されてきている。ライフライン的には水、電気、ガスも問題ないとのこと。足りないのはガソリンである。人的にも問題ないとのこと。

竹田総合病院 (2011/03/18 16:16)

財団法人 温知会 会津中央病院 (2011/03/18 16:18)



岩手県



**久慈 地区**

岩手県立久慈病院インターネット、電話、FAXなどのライフラインはOK。周囲の医療機関も機能している。医薬品は現時点では充足しているが、供給の見通しが見つからない為、日数を限定して薬を処方せざるを得ない。患者の受け入れも医薬品の在庫に合わせて制限して行っている。医薬品の不足は県に要請している。DMATは急性期には来ていたが、今は撤退。医療スタッフは充足している。病院の衛生面、インフルエンザなどの感染症は問題となっていない。

岩手県立久慈病院 (2011/03/19 11:57)

**宮古 地区**

岩手県立宮古病院は、電話が通じず。

岩手県立宮古病院 (2011/03/18 11:30)

岩手県立中央病院より情報が入る。ライフラインがいきている。電話だけ通じない。1日700名対応している。検査関係の資器材、消耗品が足りないとのこと。



## 富山県医療救護班からの報告（平成 23 年 3 月 19 日現在）

（岩手県釜石市平田地区の避難所について）

< 避難所 >

- ・市災害対策本部が把握している避難所は全部で 52 箇所。個人宅に集まって避難している人たちもいるので、正確な数は把握できていない模様。本県は、平田地区に 9 箇所ある避難所のうち 4 箇所を担当。
- ・一部の避難所には、水道が復旧し、お風呂があるところもある。
- ・高血圧の患者が多い。
- ・風邪、腸炎が増えてきている。
- ・インフルエンザは未発生。

< 通信 >

- ・携帯は、NTT ドコモ、ソフトバンク、au が、一部エリアで限定的に使用可能。

< 治安 >

- ・当初、治安が悪く物資(食料)盗難の恐れもあったそうが、徐々に物資の供給が充実してきており、徐々に良くなっている。

< 薬剤 >

- ・足りない薬剤については、地元医師会の協力により薬局の薬を提供してくれるが、無償ではない。

情報提供 富山県厚生部医務課医務係（2011/03/20 18：00）

### 大船渡 地区

岩手県立大船渡病院は、電話が通じず。

岩手県立大船渡病院（2011/03/18 11：40）

### 盛岡 地区

岩手県立中央病院では、ガソリンがはいったが昨日と変わらず足りない。暖房も節約し、水、お湯も節約しており明日 1 日持つかわからない。インフルエンザの B 型が発生してきている。2 か所派遣に出ている。県立高田病院、宮古にも出ている。検査関係の資器材、消耗品が足りないとのこと。輸血に関しては入ってきている。避難所、仮設診療所を出して受け入れている。

岩手県立中央病院（2011/03/18 17：12）

岩手医科大学ではインターネット、電話、FAX などのライフラインは問題なし。自院 DMAT 隊を沿岸に派遣している。患者は数を限定して受け入れている。医療スタッフは充足している。不足している医薬品は県に要請しているが、要請した担当者が不明な為、供給が来ているかは不明。

岩手医科大学（2011/03/19 11：38）

盛岡赤十字病院ではインターネット、電話、FAX などのライフラインは問題なし。周囲の医療機関も機能している。転院搬送や通常の救急搬送を受け入れができています。医療スタッフも足りています。医療

物品が不足しており、救急医療総合研究機構フォーマットに入力済みだが、本日（19日）の時点で未だ供給はきていない。

盛岡赤十字病院（2011/03/19 11：49）

岩手県の対応について県立医療局が対策本部とは別に設置されており、（窓口）物資の資器材搬送の依頼を受けているとのこと。電話019-629-6305

県災害本部が医療以外の物品搬送等を請け負う。019-651-3111

県立医療局が医療の支援を請け負っている。019-629-6305

（019-629-6306）

岩手県県庁 災害支援本部 医師支援推進課

全国からの医療支援チームを県内の被災地への各県医師会 JMAT にて派遣調整。個人医療従事者の支援申し出に関しては調整に難航。

問い合わせ：019-651-6399（岩手県県庁 災害支援本部 医師支援推進課）（2011/03/19 14：30）

東京都医師会 東京都の医療支援チームを募集し、日本医師会に情報を提供する。その情報を日本医科大学がコーディネートし、被災地の各県庁に提供。コーディネート可能な医療支援チームの条件は 自己完結型支援が可能、 地元警察より通行証を手配可能の2つ。

応募方法：東京都医師会ホームページからフォーマットを記入し、送信（HP 参照）

問い合わせ：03-3294-8821（東京都医師会）

備考：派遣時、東京都医師会からの保険がつきます（死亡時5000万円、入院時1万円）

（2011/03/19 15：00）

## 3月22日18:00時点での被災地医療施設の必要物品リスト

### 岩手県

岩手県立磐井病院：カテーテル(泌尿器系)、採血管、三方活栓手術用資器材、シーネ、固定帯、包帯、  
麻酔薬、抗生剤、インスリン、高カロリー輸液、ガソリン

盛岡赤十字病院：オペ器材、おむつ、子供用食事

#### フォーム申請有

- ・滅菌手袋 6.5, 7.0 × 80
- ・挿管チューブ 7.0, 8.0 × 80
- ・縫合針 各サイズ × 10
- ・滅菌ガーゼ(X線入) × 120

医療法人社団 愛生会 昭和病院：ガソリン

高松病院：ガソリン

北上済生会病院：ガソリン

岩手県立中央病院：ガソリン、オペ資器材

### 宮城県

仙台社会保険病院：ガソリン

仙台市立病院：ガソリン

財団法人 広南会 広南病院：ガソリン

医療法人 永仁会 永仁会病院：ガソリン

### 福島県

医療法人 敬仁会 中野病院：抗生物質

総合南東北病院：シリンジ(FAXあり)

南東北福島病院：輸液(維持液)、経管栄養剤

済生会福島総合病院：生理食塩水

太田総合病院附属太田西ノ内病院：暖房、重油、ガソリン

大町病院：ガソリン、おむつ、食器(タッパ)

脳神経疾患研究所附属総合南東北病院：ガソリン

福島県いわき市桜ヶ丘：(01)アムロジピン 2.5mg × 30 (02)リピトール 5mg × 30

(03)カルデナリン 0.5mg × 30 (04)ハーフジゴキシン ky 0.125 × 30

(05)ニバジール 2mg × 30 (06)ウルソ錠 100mg × 180 (07)オルメテック 20mg × 30

(08)エフランチール 30mg × 30 (09)セルシン 2mg × 30 (10)ワンフルファ 0.5 × 30

3月22日18:00時点での企業等における支援可能物品リスト

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

- ・ ECG オーバル電極 600枚入り / 箱 × 10

エア・ウォーター株式会社

- ・ 医療用酸素 備考：詳細なリスト(必要な病院、本数等)

ドレーゲル メディカル ジャパン

- ・ 人工呼吸器 2-3台

備考：機種等は、ニーズに合わせて選定。希望を教えてください。

麻酔科学会

- ・ 手術用麻酔、器具を送付したい。 福島県立医大に送ってほしい。

フクダ電子

- ・ 心電図電極 エコーローテ × 3箱
- ・ 人工呼吸器 サーボ S × 10
- ・ 生体情報モニタ DS-7001 × 9 (ECG, SpO2, EtCO2)
- ・ 生体情報モニタ DS-7110 × 8 (ECG, SpO2, EtCO2, IBP, Temp)
- ・ 携帯型カプノメータ EMMA × 20
- ・ 生体情報モニタ(セントラルモニタ 8床) × 問い合わせ

上記の台数は状況により変動

岡本内科こどもクリニック 奈良県

- ・ 下垂体機能低下症、尿崩症の薬提供が可能

株式会社大塚製薬工場

- ・ 経口補水液 OS-1 24本入り × 280ケース
- ・ 経口補水液 OS-1 パウダー × 10ケース

株式会社エースインターナショナルジャパン

- ・ ジャームブロックボトルタイプ 250ml × 108
- ・ モースプロテクション (5枚×12袋) × 40箱
- ・ 次亜塩素酸水

株式会社シガドライ・ウィザース

- ・ ウィルシューター (抗ウィルスマスク) 100個入り × 218箱

・ウェットタオル × 244 箱

EBSCO Publishing

弊社は DynaMed などを提供する米国企業で、DynaMed は国内でも多くの先生方にご活用いただいております。この度、DynaMed の無料公開について検討し、下記の 3 点を 4 月 30 日まで無料でご利用いただけるように解放いたしました。被災地ではネット接続が難しいかもしれませんが、多くの方にご活用いただければと思っております。

DynaMed (医師向け EBM 臨床医学情報)

Nursing Reference Center (看護師向け臨床情報ポータル)

Patient Education Reference Center (患者教育支援ツール)

ログインは、下記サイトより 24 時間無制限でご利用いただけます。

<http://www.ebsco.co.jp/earthquake/311evidence.html>

被災地医療支援に尽力されている医療従事者の皆様に、少しでもお役にたてれば幸いです。

東レ・メディカル株式会社

・手術用ゴム手袋 5.5, 6.0, 6.5, 7.0, 7.5, 8.0 × 各 200

株式会社カーブスジャパン

・水 16 トン

## 人的支援

- ・個人参加 52 名
  - 医師 30 名
  - 歯科医師 1 名
  - 看護師 10 名
  - 薬剤師 4 名
  - 救急救命士 5 名
  - 助産師 1 名
  - 柔道整復師 1 名
- ・チーム参加 2 チーム